

モンゴル便り

～第1号～



皆さん、初めまして。

10月中旬より JPO として UNFPA モンゴル事務所に赴任しました谷口英里と申します。

これから 2 年間モンゴルで働き生活しますので、定期的にモンゴルの様子・UNFPA モンゴル事務所の活動そして私の仕事などについて、皆さんにご報告できればと思います。

モンゴルとはどんな国？



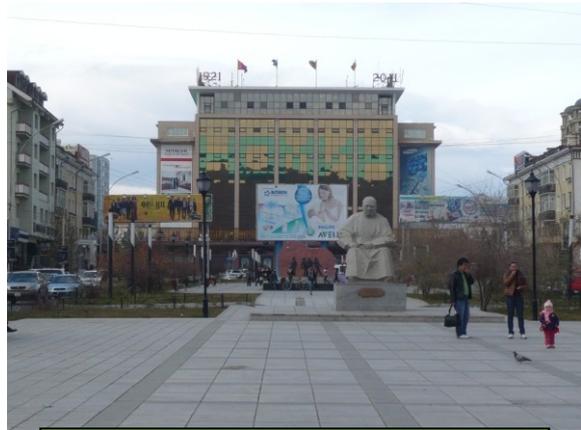
まずはモンゴルそして首都のウランバートルについて。

モンゴルは中国とロシアに囲まれた内陸国で、面積は 156 万 4116 平方 km（日本の約 4 倍）、人口は約 280 万人です。人口の約 40%が首都であるウランバートルに住んでいます。気候は全体的に雨量が少なく乾燥しているのが特徴で、ウランバートルは「世界一寒い首都」と言われるくらいで、冬には気温がマイナス 20～30℃にまで下がるそうです。それでも建物の中はかなり暖房が効いていて寒さは感じないので、外と中との気温差が大きいです。

1911 年に中国・清朝から独立を宣言した後はソ連の影響を大きく受け、社会主義政策を進めていましたが、1990 年に民主主義・市場経済へと移行しました。最近は鉱物資源ブームで経済成長も著しく、外国からの投資も伸びているということです。このような経済発展の度合いは、大きなビルやアパートが立ち並ぶウランバートルの写真からもわかります。



ウランバートル中心部



大きなデパート (ウランバートル市内)

モンゴルにおける国連の活動

次に仕事の様子を少しご紹介します。

今年はモンゴルの国連加入 50 周年ということで、10 月 27 日にモンゴル外務省と国連が共同で、シンポジウム・展示を外務省にて行いました。シンポジウムでは、モンゴルの国連加入のいきさつや積極的に参加している PKO 活動についてなどのスピーチがありました。その後は国連の各事務所がブースにて活動を説明したり、印刷物を配布したりしました。会場では大学生向けのクイズ番組の撮影も行われ、(クイズ自体は国連の活動に関係するものではありませんでしたが) 撮影のために集まった学生たちもブースを見学するなど、多くの人に広報活動ができました。



シンポジウムの様子



UNFPA 展示ブース、モンゴル人の同僚と共に



学生のクイズ番組撮影風景

このイベントは私がモンゴルに赴任して 2 週間たった頃であり、赴任後初めて本格的に任された仕事でした。イベントのために国連の各事務所が共同で準備し展示を出すなど、他の事務所の人たちとも知り合い協力し合う良い機会となりました。

今回は、モンゴルのことやモンゴルにおける国連の活動についての概要をご紹介しました。次回は UNFPA モンゴル事務所の活動や私の仕事についてご報告したいと思います。